

短期予報解説資料 2025年10月15日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

① 東シナ海～西日本付近～東海道沖にのびる前線に向かう下層暖湿気や本州付近を東進する500hPa 5760m付近のトラフの影響で、東～西日本太平洋側で雷を検知、激しい雨や非常に激しい雨を解析。前線近傍では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風が吹いて、西日本日本海側では波が高くなっている所がある。

② 15日3時に温帯低気圧に変わった台風第23号の高波域からのうねりの影響で、東日本の太平洋側を中心に、波が高くなっている所がある。

③ 500hPa 5460m付近で-27℃以下の寒気を伴うトラフに対応するシアーラインの影響で、北海道地方ではやや強い雨を解析。また、気圧の傾きが大きくなり、やや強い風が吹いている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項②の低気圧の高波域からのうねりの影響で、東日本太平洋側では15日は、高波に注意。

② 1項①の前線は、15日は華中～西日本～東日本太平洋側に停滞、500hPa 5760m付近のトラフに対応して夜までに前線上の黄海付近に低気圧が発生する。16日は、トラフが深まりながら北～東日本付近に進み、前線上の低気圧は、発達しながら西～東日本日本海側を東北東進し三陸沖に進んで、寒冷前線が西～東日本を南下する。17日は、低気圧は発達しながら日本の東から日本のはるか東に進み、前線は日本の東に進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、西～東日本では16日にかけて、北日本では16日は、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷、突風、降ひょう、局的的には竜巻などの激しい突風に注意。前線や低気圧と大陸や大陸から日本の東に移動する高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、西～東日本では17日にかけて、北日本では16～17日は、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。強風や高波に注意。

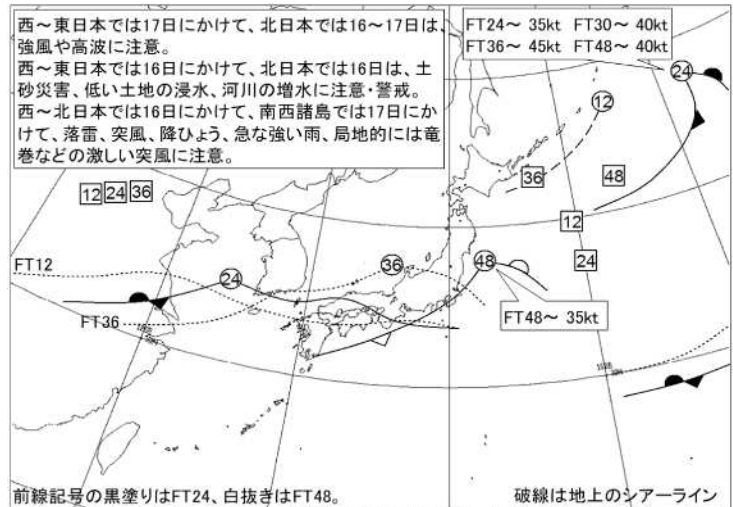
③ 1項③のトラフと対応するシアーラインは15日昼頃には千島の東～日本の東に進む。シアーラインに向かう下層暖湿気や上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。北海道地方では15日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。

④ 17日にかけて、500hPa 5940m付近の上空の高気圧に対応して、東シナ海～日本の南は高圧部となる。高圧部の南縁を回る下層暖湿気の影響で、南西諸島では大気の状態が不安定となる所がある。落雷、突風、急な強い雨に注意。また、西日本太平洋側～南西諸島では、晴れて気温が上昇し、真夏日となる所がある。熱中症などの健康管理に留意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時から24時間):多い所(100mm以上)はない。② 波浪(明日まで):伊豆諸島4、東北・関東・東海・九州北部3m。③ 高潮(明日まで):西～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図